

甲南Today

2010 OCT. NO. 37

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ



「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者平生凱三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園で光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

経済学部 4年次

長宅 智行さん

卒業後はホテル業界に就職。「人の役に立つ仕事をしたい」の思いから、この業界を志望。内定先のホテルでサービスのプロをめざします

今年1月にハイチの首都ポルトープランスで発生した大地震。その被害は深刻で、20万人以上が亡くなり、多くの子どもたちが両親を失った。長宅智行さんは、ハイチ大地震の遺児たちを支援する、あしなが育英会のボランティア活動に参加。6月にハイチに赴き、複数の孤児院を訪問した。「現地ではボール遊びやお絵描きなどをして子どもたちと交流しました。遊んでいるときは屈託のない笑顔を見せていた子どもたちも、地震のことを話す表情は辛そうで、心の傷の深さがうかがえました」。長宅さんがこの活動に参加したのは、あるメッセージを子どもたちに伝えるため。長宅さん自身、阪神淡路大震災で父親を亡くしている。長宅さんがその体験から立ち直れたのは、あしなが育英会で出会った仲間たちの存在が大きかった。同じ境遇にある仲間たちと励まし合い支え合うことで、僕は前を向くことができました。ハイチの子どもたちにも、みんなは決してひとりではないということを伝えたいです」



ハイチに5日間滞在し、子どもたちと交流した。

「現地では、どれほど時間がかかるか見当もつきません」。ハイチの現況にショックを受ける一方で、未来への希望も見出した。現地で交流したハイチの大学生たちの存在だ。「ハイチの若者は非常に勉強熱心で、自分たちの手で国を良くするという夢と情熱にあふれていました。彼らのような若者が増えれば、ハイチの未来は明るいと思います」

長宅さんは帰国後、自分がハイチのためにできることを考え、行動をはじめた。「僕にできることは、ハイチの現状を少しでも多くの人に知ってもらうこと。現地で撮った写真を持ち歩き、ハイチで見た光景をみんなに伝えていきます。ハイチの若者たちとも連絡先を交換したので、今後も交流を続けて、微力でも彼らの力になりたいと思っています」



ハイチを訪れ、大地震の遺児たちと交流。震災の悲しみから立ち直った自らの経験を伝える。

〈特集1〉

甲南大学8学部の「今」

— 学部長メッセージ —

〈特集2〉

O.B.O.G座談会 in 東京

〈特集3〉

学びを生かし、社会に貢献する。



甲南Today NO.37

2010年10月20日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)

なるほど！甲南アカデミア
甲南高等学校・中学校
南里章二先生

甲南パティスリー対談
We Love Sweets.
大好きなスイーツで起業した
現役生&卒業生。

IT's KONAN STYLE
株式会社毎日放送(MBS)
アナウンサー室アナウンサーセンター
大吉洋平氏



Konan mobile

2 WHAT'S NEW KONAN
平生さんはそのとき「第2回」
— 私たちが間近に見た平生校長 —

3 (特集1)
甲南大学8学部の「今」
— 学部長メッセージ —

6 (特集2)
OB・OG座談会 in 東京

9 (特集3)
学びを生かし、
社会に貢献する。

11 なるほど！甲南アカデミア
世界193カ国をめぐる、
生きた体験から教える冒険先生。
甲南高等学校・中学校 南里章二先生

13 高・中TOPICS
めざすは優勝！
全国大会で活躍する甲南生たち。

14 フランス甲南学園トゥレーヌだより
「おいしいワインを
たくさんの人に届けたい！」
憧れのフランスで
願いを叶えた卒業生。
藤井 まき子氏

裏表紙
ONLY ONE ～個性を力へ～ VOL.8

15 甲南パティスリー対談
We Love Sweets.
大好きなスイーツで起業した
現役生&卒業生。

株式会社TMR代表取締役 河本 陽介氏
経済学部EBA総合コース4年次生 山本 理沙子氏

18 オール甲南の集い2010 REPORT

19 IT'S KONAN STYLE
テレビに映る1の部分をつくるために、
映らない99の部分で努力することが、
アナウンサーという仕事なんです。
株式会社毎日放送(MBS)
アナウンサー室アナウンスセンター 大吉 洋平氏

21 こちら甲南特搜部

PART ① 甲南大学鉄道研究部が、
摂津本山駅の誕生秘話を調査。

PART ② 甲南大学と御影クラッセが連携。
地域密着型の「ACTイベント」を始動！

23 文学部で朝日新聞社との
連携講座が開講

24 甲南フォーラム



【表紙の絵】西井 義晃 画
「高等学校棟・特別教室棟」
西井 義晃さん プロフィール 1961年甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員



「岡本キャンパスの夏から秋」 撮影・柚実
http://www.yoshiyuzumi.com/



甲南学園
創立90周年
記念事業

平生 鈞三郎日記
翻刻記念シリーズ

前号(36号)に引き続き、甲南学園元理事長、
名誉理事である小川守正氏より
平生鈞三郎先生にまつわる
エピソードをお聞きました。
学生時代、平生先生に直接薫陶を
受けられた小川氏の貴重な思い出の一部です。

平生さんの行った処罰

であった。教育に対する根本的な見解の相違で
ある。
昭和8年だったと思うが、全国の大学・高校で
左翼思想の最後の弾圧があり、甲南でも11名
が検挙された。当時は、検挙された学生はすべて
放校処分された。放校とは退校より重く、二度と
学生生活には戻れないというもの。放校処分を受
けた人は、地下運動か満州行きと言われていた。
平生さんは、自分で警察に向き「私が責任

平生さんはそのとき

— 私たちが間近に見た平生校長 —

【第2回】

平生さんと文部省の教育理念

昭和12年、日本は太平洋戦争の前奏曲ともい
うべき日中戦争に突入するのであるが、この時局
に対応して文部省の発した教育理念は「国体の
本義」と題して次のものであった。「西欧の個人
主義は日本の国体には合わない。日本は万世一
系の天皇に帰一（絶対服従）し奉ることこそ、日
本人の日本人たる所以である」(130万部、全
国の教職員・学生に配布)。これに対し、平生さん
が甲南生に与えた訓示は「教育の目的は、世界に
通用する健全な常識を持った紳士を育成するこ
とにある」、「人は皆異なる個性を持つ。その個性
を育てる助けをするのが教育である」というもの

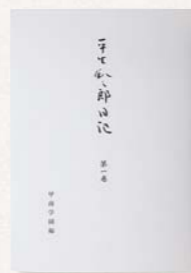
第9代(平成3年)10年理事長・名誉理事
1942年旧制甲南高等学校 理科17回卒

小川 守正



甲南高等学校校長時代の平生鈞三郎

「平生鈞三郎日記」第一巻の販売について



平生鈞三郎日記 第一巻
甲南学園編
定価20,000円(税抜)

甲南学園創立90周年記念事業として出版
されました、「平生鈞三郎日記」第一巻(A4判、
541ページ)を甲南大学生協書籍部において
販売しております。甲南学園関係者の方(卒
業生、教職員、在学生、ご父母等)は、定価
20,000円(税抜)のところ、10,000円(税抜・
送料別)で、ご購入いただけます。

●ご注文・ご購入に関するお問い合わせ

甲南大学生協書籍部
Tel.078-441-7901 Fax.078-441-7915

を持つから」と交渉し、全員をもらい受けてきて、
伊藤忠兵衛理事と2人で面接し、「学生時代は、
マルクス主義を含めていろいろな思想を勉強す
るのはよろしいが、実践活動は社会人になってか
らにせよ」という条件で全員を復学させた。これ
に対し、父兄会から厳しい処分を求める抗議が
あったが「彼等は私の学生だ」と処分を変えな
かった。そのため世間では「平生さんは赤ではない
か」とまで言われた。平生さんは赤などではな
く、根からの自由主義者なのである。
同じ頃、まことに残念で言い難いことだが、卒
業生の経営する書店で甲南生が万引きするとい
う事件があった。そして悪いことに、万引きした
本を売却したことがわかった。平生さんは親も呼
び出し、説諭叱責のうえ退校処分にした。理由
は「紳士の道に反する」だった。
中学・高校生だった私が強く感じたのは「平生
さんは正義に忠実な勇気ある人だ」ということで
あった。

経済学部

神戸を魅せる
—経済学部の新しい試み—

経済学部長 青木 浩治 教授

本学部の新しい試み「地域活性化システム論」という授業について紹介します。これは、内閣府と同窓会の支援で3年前にスタートしたもので、神戸が誇る豊かな財産、六甲山の活性化をテーマに、学生グループによるアクションプランの企画立案、公開ワークショップによるプランの発表、さらには行政に対する政策提言を内容としています。この試みは、外部からお招きした講師陣の助言もあって、期待以上の成果をあげています。1年目には神戸市への具体的な政策提言が実現し、2年目となった昨年は、神戸東灘マリンライオンズクラブ結成25周年記念企画「マネーの獅子in神戸」に応募した「六甲山×JAZZ」がみごと活動資金(20万円)を獲得しました(この学生プランは今年5月22日に実現し、新聞報道されました)。今年度は「神戸を魅せる—まち・海・山からのアプローチ」をキャッチフレーズに、スタッフ一同意気込んでおります。地域連携を旨とするこの授業は、一部を除き無料で一般公開されます。ぜひともご参加ください。



Messages from The Deans of 8Faculties

甲南大学8学部の「今」

—学部長メッセージ—

甲南大学では、本学の主軸を成す文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部に加え、2008年には知能情報学部、2009年にはマネジメント創造学部、フロンティアサイエンス学部を新たに開設して、全8学部となりました。当コーナーでは、独自のリーダーシップで学部をまとめあげている学部長から、各学部の特色や取り組みについてお伝えします。

KONAN UNIVERSITY



「法」と「政治」の理論と実践を学ぶ
—バランス感覚と行動力を備えた社会人へ!

法学部長 島田 茂 教授

法学部が今一番力を入れているのは、実践的な法学教育です。裁判所の法廷を再現した教室を使って行われる学生参加型の模擬裁判の授業はその一例です。この授業では、実際に起こった殺人事件などを取り上げ、学生が中心となってシナリオをつくり、被告人・検察官・弁護士・裁判官・裁判員・証人などの役を決め、法律用語を使って、緊迫した法廷のやり取りが再現されます。実務家による授業では、現役の弁護士や司法書士の方々が、自らの経験を踏まえ、実務と結びついた授業を行います。学生たちは、現実の社会でどのように法が運用されているかを、具体的事例を通して学べるのです。法学部で学ぶ学生は、目標も関心も多様です。法や政治の専門基礎能力を身につけて一般企業や官公庁で活躍したい、法曹界をめざしたい、法律関連専門職の資格に興味がある——そんな学生一人ひとりのキャリアデザインを実現できるよう、われわれスタッフは、法的素養を備えた実践力に富む人材の育成という教育目標の下、教育環境の一層の充実に努めています。

法学部



「感じる」「考える」「表現する」
—文学部が鍛える力

文学部長 森 茂起 教授

文学部では、文学、言語、歴史、社会、人間と、さまざまな主題を学ぶことができます。学科独自の教育目標や学問の性格、学生自身の興味や希望などで学ぶ内容は違うのですが、文学部で共有していることがあります。それは、自分の目と耳で感じ、自分の頭で考えることを何よりも大切にすることです。「感じる力」「考える力」、そして「表現する力」——この3つを鍛えることが、文学部共通の目標です。この3つの力は、文学部で学ぶ学問のみならず、これからの厳しく困難な社会を生き抜くために、もっとも必要とされる力なのです。文学部では、それぞれの学生が自分のテーマを見つけ、自分の感性を生かしてじっくりと深く考え、それを人に伝えられる形で表現することを、それぞれの分野で活躍する個性豊かな教授陣がサポートします。専門の学問の追究を通じて、ボランティア活動などの地域貢献、海外留学、資格取得、大学院進学など、さまざまな領域で活躍する道もまた開かれてくるのです。

文学部

経営学部

経営現象の「見える化」と学生の「現場体験」

経営学部長 内藤 文雄 教授

経営学は企業の運営に深くかかわっています。企業の目標は、製品・商品・サービスを提供して「もうける」(利益を上げる)こと。その一部を社会に還元するためにも、企業は、利益を大きくすること、その前提として売り上げを伸ばすことに努めます。昨今の厳しい経済状況のなか、それを実践するにはどうすれば良いのでしょうか。経営学部では、そのために必要な学びを、卒業後すぐに役立つ知識やスキルを意識しつつ、具体的に身につける2つの手法に力を入れています。1つは経営現象の「見える化」、もう1つは学生の「現場体験」です。「見える化」では、企業の経営がどのように行われているのか、アニメを含むヴァーチャル・リアリティの世界で視覚化する(=見える)工夫をしながら、経営現象に対する理解力を高めます。「現場体験」では、国内外の企業の「現場」に出かけ、そこで自らの学びがどのように生かされるかを体験・体感しながら、学びの中身を深めています。経営学部は実感できる学びを提供します。



理工学部

学生サポート力を強化し、より魅力的な理工学部へ

理工学部長 宮澤 敏文 教授

理系2学部の新設等の理系再編の結果、理工学部の構成は、物理学科、生物学科、機能分子化学科および地学研究室となりました。この新体制の下、さらに魅力的な学部となることをめざして、数年のうちに以下のことを実現したいと考えています。
①自然科学基礎実験施設の設置: 高校から大学への移行がスムーズに行えるよう、1・2年次の基礎実験を充実させます。
②学修支援施設の設置: 学習および大学生活全般に関する相談にきめ細やかに対応するとともに、学生の自主学習を先輩学生・大学院生がサポートする体制を整備します。納得がいくまで実験も行えます。
③理工学部共用機器施設の設置: 先端機器を集めて共同利用できるようにして、教育研究の効率アップと共同研究の推進を図ります。高校生対象の体験実験や中高教員対象の実験講習にも使用します。こうした施設の充実を通じて、学生が学びの楽しさを実感し、自立心を養うことのできる教育を実践しながら、地域・社会に貢献できる学部をめざします。



KONAN SPIRITS IN TOKYO

素晴らしき甲南スピリッツを次の世代へ。

甲南といえば、関西に強くねざしているというイメージがありますが、意外に東京において卒業生の方々の結束が強く、東京甲南会など活発に同窓会活動が展開されています。一方、東京は、今や甲南大生にとっても就職活動の最重要ポイントでもあります。東京に頼もしい先輩方がいらっしゃれば、学生たちもさぞや心強いだらう…そんな思いを込めて座談会を企画しました。お集まりいただいたのは、現在、東京に住み企業で活躍されている4人の卒業生の方々。東京における卒業生同士の交流、先輩・後輩への思いなどの話題を通して、甲南スピリッツを語っていただきました。



現役学生や東京在住の卒業生の よりどころとなる場所 “ネットワークキャンパス東京”。

——みなさんは、現在東京の会社にお勤めになっていますが、もとは関西「こ出身ですよね？長年住み慣れた土地を離れての暮らしかがですか？

神山 東京に住み始めた当初は、やはり友達が少ないので、寂しかったですね。早く知り合いをつくりたいという想いが、まずありました。

石田 私も同じですね。

神山 就職活動でたくさんのお学生さんが東京に来られますが、慣れない土地で何かと勝手が違うでしょうね。

水谷 僕は、就職活動をしているとき、甲南大学のネットワークキャンパス東京(以下、NC東京)があるって知らなかったんですよ。内定後東京勤務が決まってからその存在を知り、当時スタッフだった神山さんに非常にお世話になりました！甲南大生の就職活動において、キャリアセンターとNC東京にサポートしてもらえないのは大損ですよ。

弘世 今の学生さんは恵まれてるよね。水谷さんは、どんなことでNC東京にお世話になったの？

水谷 東京に住む甲南OBの方々にぜひ会わせてほしいと、NC東京のスタッフの方にお願したんです。これからの業界の展望や社会人としての心構えなどを教えてもらいたくて。そうしたら、名だたる企業の会長や専務などが快く引き受けてくださり、実業界のビッグな方々にお目にかかれた

んですよ。

神山 その積極性、えらいよね！就職氷河期のなかでも、水谷君はすごい数の内定先をもらっていたからね。

——就職活動のことは、まずキャリアセンターに相談。そして東京で活動するにはNC東京を活用するというのは必須ですね。

神山 東京に住む甲南OBのなかでも、NC東京にお越しになる方は多いですよ。東京在住OBの同窓会である、東京甲南会の事務局でもありますから、東京は、意外に甲南OB同士の交流が活発なんです。弘世 東京だからこそ、交流が活発になるのかもね。

石田 そうそう、甲南卒業、っていうだけで打ち解けやすくなるし。

——東京におけるOB会は、東京甲南会を母体として、OGだけが集う、女子部会、もありますよね。また、平成卒業の方の会もあり、その設立メンバーのうちのお二人が神山さんと弘世さんとか…。

神山 甲南の甲、平生先生と、平成の平をとって、甲平会と名づけました。甲平会の設立にあたっては、まず、4年前に東京在住の平成元年卒同窓会を企画したのがはじまりですね。100人強に声をかけ、集まったのは8人。学生時代の話で深夜まで盛り上がりました。ね、弘世さん。

弘世 そうそう。その場で「みんな甲南が大好きだよ」って話になって。「同級生だけでなく、歳の近いOBが集える機会があればいいね。じゃ、みんなで甲平会を設立しようよ」ととんとん拍子に。私も、東京に出てきてから20年、ずっと仕事に没頭してきたのですが、ちょうど職場を離れた人脈形成をしようかと思っていたときでしたし、「じゃあやってみようか」と。でも、東京には

知能情報学部

理数離れに科学の夢を!

知能情報学部長 森元 勸治 教授

理数離れが叫ばれて久しい昨今ですが、その原因は、単に学校の勉強が面白くないというだけでなく、理数系の研究者がその楽しさを社会に向けてしっかりと発信してこなかったことにもあると思います。そこで今、知能情報学部が最も力を入れていることは、近隣の小中高校生に、科学の楽しさやすばらしさを伝えていこうという取り組みです。そのために今年も、昨年に引き続き、8月1日のオープンキャンパスに重ねて、小中学生向けのイベント「科学とあそび! 2010」を開催し、多数の参加を得ました。また、8月10日には、中高校生向けのイベント「ロボットワールドへの招待」を開催し、大好評でした。

本学部は、情報科学と工学を中心に、人間知、機械知および情報通信技術を融合させた、応用範囲の広い研究を行っており、それが上記のようなイベントの開催を可能にしています。これからも、本学部で得られた最新の研究成果を、できるだけわかりやすい形で社会に発信していこうと思っています。



CUBEは新しい教育の実験場

マネジメント創造学部長 佐藤 治正 教授

マネジメント創造学部(CUBE)は2009年4月に開校し、今春、二期生を迎えたばかり。学生も教職員も、授業自体も、まだまだ発展途上にあります。今回は、CUBEの特徴的な授業を紹介しましょう。

学生にとっては、大学入学後に本当の「学び」が始まりますが、われわれ教員には、受験勉強から新たな学びへのモード・シフトが1年生の教育における大きな課題です。CUBEでは新たな試みとして、1年生を4クラスに分け、担当教員を各々のクラスに3人ずつ配置するという少人数の授業を実施しています。フェーズIでは「調べる」「考える」「発表する」「議論する」という基礎的な能力を育成し、フェーズIIでは各クラスを6チームに分け、各チームが他のクラスでプレゼンテーションを行います。フェーズIIIでは、学部長の与えたテーマに関してベストチームをクラス毎に選考し、全学生の前で披露して、1年間の成果を示します。

このように、CUBEでは、小さい学部である利点を生かした教育を日々実践中です。

フロンティア サイエンス学部

生物と化学のコラボレーションで ナノバイオの未来をつくる

フロンティアサイエンス学部長 縄舟 秀美 教授

フロンティアサイエンス学部での学びは、「知る・応用する・実社会に活かす」という段階的な3つのフィールドから成り立っています。「知る」ではまず、化学、生物学、物理学などの基礎的な学問を学びます。次の「応用する」では、バイオテクノロジーとナノテクノロジーの融合領域<ナノバイオ>を学び、今までの大学にはなかった最先端科学の知識と技術を習得します。この2つの集大成として「実社会に活かす」技術を身につけ、医療・創薬・新素材・エレクトロニクス・環境などの分野で活躍できる知識と能力を備えます。

日常生活における「なぜ?」という小さな疑問、「こんなものがあればいいのに!」という想い。ノーベル賞受賞者、画期的な新薬の開発者、数々のヒット商品を生み出した企画者も、すべての始まりはほんの小さな好奇心でした。本学部では、皆さんの想像力や探究心を最大限に活かし、次世代科学のカギを握る<ナノバイオ>の領域を学び、身につけた知識や技術をいかに将来に生かすかをテーマとしています。



「承知のとおり、東京甲南会という非常にしつかりした組織があるから、まず、東京甲南会の水野会長(株ミズノ会長)に趣旨をご説明したうえでご相談したんです。そうしたら、「ぜひやりなさい」と。他の先輩方も応援してくださいました。」

神山 甲南の先輩方の懐の深さを物語るエピソードですね。甲平会は、東京甲南会というしつかりした母体とそこにいる温かい先輩方がいてくださったからこそできた集まりです。人間としてお手本にしたくなるような先輩が本当にたくさんいらっしゃるんですよ。東京甲南会に参加して、先輩方とお話するのは勉強になりますね。

弘世 気軽に寄り合える甲平会に参加することがきっかけとなって、東京甲南会に参加してもらえたらいいなという気持ちがありますね。

——甲平会設立メンバーのお二人も後輩の水谷さんに負けずに積極的ですね。甲平会は第1回にして100名を超えるOB・OGが参加されたとか。人を集めるのに苦労はされませんでしたか？

神山 最初に集まった同級生8人が協力し合って準備しました。みなさん仕事で忙しいなか本当によくやってくれました。頭が下がります。また、基本的に甲平会



弘世 芳嗣郎さん

三菱東京UFJ銀行勤務
1989年甲南大学経営学部卒業。入社後日比谷支店、資本市場部、ニューヨーク支店、国際業務部など多方面の金融分野で活躍。甲南大学時代は、テニスに熱中。

はざつくばらんで楽しく、かつためになる場にもなるので、人が人を呼んでくれたことが功を奏したと思います。「人間はおもしろいからいたいかなのいずれかでなければ寄ってくるものじゃないよ」と、創立者平生鈞三郎先生のおことばにもありましたよね。若い人がたくさん参加してくれたのもうれしかったです。その代表が水谷君だね。

水谷 私は将来起業をめざしているんですが、第1回目の懇親会で「会社を辞めよう」と考えていることを思いきってある方にご相談したんです。そうしたら、先輩の方々が「ダメだ、あと1年がんばれ」とか、「今の会社でもっと社会人経験を積み」とアドバイスしてくださったんです。真剣かつ厳しくて、でも温かいおことばでした。会社を離れた社会人同士のお付き合いがあったら、適当にあしらうこともできるのに。後輩思いの先輩がたくさんいらっしゃる感じが分かって、うれしかったですね。

弘世 甲南の卒業生は、起業している人が結構多いから、甲平会で多くの実業家の方々に出会えたのはいい経験になったろうね。

石田 私は、ちょうど東京に転勤になったところで、神山さんに誘っていただいたて参加したんですが、一気に友達が増えました。

神山 石田さん自身も多くの方にとつて

ければ、仕事においても成功に近づけると思っています。大先輩の弘世さんは、これらの若い人にどんなことを期待されますか？

弘世 これは自分への戒めも含めてなんです。まず、「目的意識を持つこと」、「人のせいにならないこと」、「絶対にあきらめないこと」。そして、「表現力があること」。どんなにいい考えを持っていても、相手に伝わらなければ意味がないからね。あと、「信頼力があること」。最後に一番大切なのは、「真の仲間がいること」だね。英語も必須ですよ、これからは。

石田 今後は海外での現地採用も増えるので日本での就職の門戸はますます厳しくなりますよね。だから、語学にプラスして、外国人学生と競える力が必要ですね。たとえば、私の会社でもアジア全体で新入社員が集まることあるんですが、日本人は全く話さないのに、中国やインドの新入社員は与えられた課題に対して瞬時に考えて意見が言えるんですよ。考える力はもちろん、弘世さんが言う「表現力」が大切になってくると思います。

水谷 私は海外で働いた経験もあるのですが、海外では10年先の国を思って行動する若者が多く、志が高いと感じましたね。日本には少ないと思います。



石田 靖恵さん

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン勤務
1989年甲南大学文学部卒業。P&G経営管理本部に勤務。仕事の傍ら2007年神戸大学にてMBA取得。ゴルフ、スキー、テニス、スキューバダイビング、茶道が趣味。

石田 そうですね。それと企業では、共存共栄をリードするマインドを持つことも大切だと思う。利己主義に走ると、組織ではやっぱり頭を打つから。

神山 若い人はきつちりして、はじめだけけど、余裕がないのかな。仕事にしても、言われたことをこなすだけで、もっと寄り道したり、ころんだり、遠回りしてもいいに思っていますけど。もっと人生を思いきり生きて楽しんだらいいのに。

弘世 まあ、僕たちが若いときも、先輩は僕たちを見て同じように思っていたのかも知れないけど、でも、われわれの時代よりがんばっている学生たちも多い。これからますます価値観が多様になってくるので、「社会に受け入れられる個性」を大学時代でみつけてほしいな。単に変わってるっていうのではなくてね。それと、やっぱり出会いを大切にしてほしい。才能のある人間は、袖が振れるほどの些細なチャンスも逃さない。大物になる人物は、チャンスに敏感です。出会いが人を変えるからね。私自身も社会人になって、甲南の方々や多くの人に助けられました。

水谷 後輩の方々は、私のように甲平会をはじめ甲南の先輩方とどんなお付き合いしてほしいですね。私のところにもぜひ飛び込んで来てほしいです。



神山 優子さん

CHINTAI ZAGAT SURVEYアドバイザー
1989年甲南大学文学部卒業。テーブルコーディネーターとして活躍後、現在は全米No.1のレストランガイドの日本版「ZAGAT SURVEY」のPRを担当。趣味は、料理、旅行、陶磁器鑑賞。

魅力ある方なので、「ぜひ甲平会に来てほしい」と誘いました。外資系企業でキャリアを築いていて、リーダーシップを発揮している彼女の生き方が若い女性たちから「がんばる意欲」を与えると期待できたから。アドバイスも響くだろうなと思ったので。

弘世 MBAもハードワークのなか取得したよね。

石田 私のことはさておき、甲南OBの多くに共通する人柄の良さがありますよね。柔軟性があるフレキシブルな人が多いように思います。甲南の穏やかな校風のせいでしょうか。

神山 私は甲南の先輩たちにお会いして「豊かさってこういうことだな」と知りました。特に旧制の先輩方は、紳士で、仕事も一生懸命、趣味もいっぱい。社会で活躍されていく素敵な方が多いですね。実は、来年発売予定のレストランガイド「ZAGAT 京都」のPRで、京都の先輩方を訪ねたことがあったのですが、数人集まってくださっていて、「よう来てくれた」とこちそうしてくださったり、「観光庁の長官に会いに行きたほうがいいよ」と一筆書いて紹介してくださったり…。なかには初対面の先輩もいらっしゃるいましたが、同じ甲南大学を卒業しただけのつながりで、大変親切に丁寧に



水谷 雄一さん

外資系金融機関勤務
2005年甲南大学法学部卒業。大学卒業後野村證券に入社、海外での起業経験を経て、現在は外資系金融機関に勤務。趣味は、パワースポットめぐり。

接してください。

石田 私もちょうど大学院に通学していた頃に知り合った甲南の先輩にMBAの修士論文を見ていただいたりしました。

弘世 その日初めて会った先輩の面倒を見てくれるのも、甲南らしいね。上からかわいがってもらったことをちゃんと受け継いでいて、また下の世代に返してあげようとする精神があると思う。私たちがもっていたいですね。

卒業生はもちろん、現役の甲南大生のみならず、ぜひ飛び込んで来てください。

——次にこれからの社会において甲南の後輩たちに期待することを聞かしてください。若き方への激励エール、ちょっと厳しいご意見など、各界の最前線で活躍されているみなさんご自身の経験を交えた本音トークをお願いします。

水谷 今の時代、たとえば見た目がいい仕事を選ぶ傾向があったり、社会の評価が気になって自分が本当にしたいことを大切にしていなかったりすることも多いですよ。本当にそれでいいのかな…。私が、これからの甲南の後輩たちに磨いてほしいのは、「本質を見ること」ですね。本質を見抜

Present

『ザガット』東京版または長野版をプレゼント!
20名様にプレゼント

座談会の中で登場した「ザガット」は、実際にレストランやホテルを訪れた一般利用者のサーベイ(店舗評価・投票)によってつくられるガイドブックです。実際に利用した方が評価するため、信頼性が高くなります。本誌をお読みの方に東京版(ザガット東京)のレストラン2011と長野版(ザガット長野)のレストラン&ホテルを、抽選で各10名様にプレゼントいたします!アンケートはがきでお申し込みください。



～「ザガット」編集部よりお知らせ～
『ザガット 京都のレストラン&ホテル』の投票期間スタート!
消費者投票による世界的評価ガイド「ザガット」から、京都版観光ガイドが2011年3月にデビューします。そこで11月12日(金)まで「ザガット 京都のレストラン&ホテル」の投票を実施しています。みなさまが体験した、京都のレストランとホテルについて、本音の評価を投票してください。一緒に「ザガット」をつくりましょう!
店舗評価・投票にご参加いただければ、情報提供のお礼としてもちろん新刊本を、また抽選で京都の名産品をプレゼントします。奮ってご参加ください。
●お問い合わせ先
ザガット事務局(株式会社CHINTAI内)
www.chintai.net/zagat
TEL:03-3500-5558(平日10:00～18:00 土日祝を除く)

学びを生かし、 社会に貢献する。

これまで本誌でお伝えしてきたように、甲南大生は、さまざまな形で社会貢献活動を行っています。今回は、そのなかでも学生の本分である「学習」の成果を生かし、社会に貢献する学生たちとその活動内容をご紹介します。

叱られて教わり、誉められて伸びる。そして、「ありがとう」と言われ人の気持ちの温かさを知る。学生たちが学ぶ姿勢になると、経験することすべてが教科書になります。彼らが社会貢献によって味わった喜びと感動のレポートをどうぞご覧ください。

ボランティアをしてみたいけど、 どうすればいい？

→codeプロジェクトに
お任せください！

「NPO/NGO論」

（担当：宮垣三才教授）受講生を中心に

私たち、codeプロジェクトは、文学部社会学科の地域連携講座科目「NPO/NGO論」で学ぶ学生を中心とするグループで、現在は文学部、経済学部、法学部の学生などで構成されています。この講義では、社会には企業や行政以外にも多くの活動や組織があるという実態、その意義や可能性、そして抱える課題などを学びます。私たちが取り組んでいるのは、ボランティアに関する問題。東灘区のボランティアセンターとの協働で、約130にのぼる同区のボランティア団体への取材を続け、その活動を少しでも多くの方に知っていただくため、取材内容をウェブ上に公開しています。ボランティア活動に取り組みたいと思いつく方も、どう行動に移せばいいのかわからない方はたくさんいらっしゃると思います。一方、私たちが通学する東灘区内だけでもボランティアを組織する団体は多数存在します。それらの団体とボランティア志願者がうまく結びつけば、もっともっとボランティアの輪が広がるのではないかとそういう願いのもと活動しています。

私たちがcodeプロジェクトの活動で学ぶことは、講義で学んだことの実践だけではなく、取材をさせていただけるように交渉することも私たちの大切な仕事です。



そのため言葉遣いやマナーに非常に気を配るようになりまし。一歩大学の外に出ると、私たち学生一人ひとりの行動が甲南大学のイメージを左右するということを認識し、各々が自分の言動に強く責任を感じるようになったのです。この活動をやるまでは考えてもみないことでした。教室で講義を聴いて学習すること、大学の外で接するたくさんの人から学ぶことが両輪となって成長させていたことを実感しています。ボランティア団体の方などから、お礼を言っていたことが多のですが、私たちがの方こそ感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、この活動を通じて出会った方々のつながり、得た情報や知識、経験を「社会貢献」という形だけではなく、より多くの場面で生かしていきたいと思います。

参加学生

宮崎貴之・仲井豊（以上文4）・樋口尚子（法4）・浅井田紀乃・中前安薫・細田涼祐・屋木龍太郎・吉田直人（以上文2）・櫻井洋明（経2）・京宗宏（経1）

「お母さんも キレイにしたい」

～イベントで駅ナカを活性化！～

経営学部・西村順二ゼミ

私たちは、JR大阪駅にある有料化粧直しスペース「アンジェルブ」について、JR西日本と共同研究を継続的に行っています。私たちに与えられた課題は、「お客さんの少ない時間帯があるアンジェルブを、常にお客さんがいる状態にすること」でした。このたび、私たちが提案したいくつかある提案のなかから「イベントプラン「母娘感謝イベント」」が評価され、10月3日に実施されました。イベントの企画にあたっては、アンジェルブ利用者に対するアンケートにもつき、昼間の閑散時間帯の利用者増のターゲットングを検討しました。

イベントの内容は、①まずアンジェルブでお母様がプロメイクで変身②メイクの間、娘さんが肌診断やお母様への感謝のプレゼントをご準備していただく③綺麗になったお母様とご対面、娘さんからの感謝の気持ちをお伝えいただくというもので、プロメイクアップアーティストであるAYUMOさんのトークショーなども行われました。

現在は、次のイベント開催に向けて、娘さんからの誘いに応じお母様がアンジェルブに来ていただけるかどうかを検証するべく、286組の母娘を対象にアンケートを行っています。その結果から、自律的親子関係や友達親子などの要因を分析し、母娘の、仲のよさ、および、消費行動を把握します。

時間をかけて研究してきただけに、イベントが開催された今は達成感でいっぱいです。西村ゼミでは、学生たちが、地域、企業、そし



て産業界などと連携協力して、さまざまなプロジェクトにかかわることができ、単なる座学ではなく生きたマーケティング論を学べます。私たちが西村ゼミを選んだのもそれが大きな魅力だったからです。大学時代にすこしいい経験ができ、西村教授に感謝しています。

私たちは、ゼミにおける学習・研究を通して、魅力的でありながら、世の中にはあまり知られていない製品や場所、地域資源などがたくさんあるということを知りました。今後も、地域や企業の知られざる魅力を引き出し世の中に周知してもらおうような社会貢献や仕事に取り組んでいきたいと思っています。

参加学生

荒東英貴・芝野哲・種地祐香・時本奈美加・奥松真衣・堀西子・大川咲耶・荒木聡・田中健一朗・尾登邦彦・上野拓也・木村直裕・清水友香・吉田美里・井元陽子・西倉美也子・上野拓也・前田直毅・胡貴宏・永田剛・寺西真帆・木村康司・宮下佳子・慎育子・上野真利絵（すべて文4）

アンジェルブのHP: <http://angelbe.jp/>

一度聴いたらやみつき! おもしろテーマソングで 商店街を活性化!

経営学部・西村順二ゼミ

私たち経営学部の西村順二ゼミはマーケティングについて学んでおり、その研究プロジェクトの一つとして、阪神尼崎駅前の地域活性化プロジェクトがありました。いくつかの案を提案したなかで、尼崎中央商店街オリジナルのテーマソングをつくるという私たちのグループの案が好評だったため、テーマソング制作作業に入りました。まずはマーケティング手法にのっとり、仮説を立てて検証を行うという作業のなかで、商店街の客層を分析。歌詞を、近隣に在住する仮想家族、尼崎一家の日常生活が尼崎中央商店街と密接にかかわっているという設定とし、ストー



参加学生

何橋如川端みなみ・竹内亜香・田中志乃・永井佑樹・宮崎貴裕・山田桂司（すべて文3）

海外からの来客を迎える 小学生をサポート

～英語力と留学経験を生かして
社会に貢献するWEBAS～

*WEBAS総合コース

私たちWEBAS総合コース6期生による、人材支援団体「WEBAS」は、御影小学校より、「外国からのお客様を迎えるにあたり、生徒たちを支援してほしい」というお話をいただきました。ワシントン州から外国人教員グループが御影小を訪れ、生徒たちと交流するという兵庫県教育委員会のプログラム実施に伴う依頼でした。

私たち「WEBAS」のメンバーは、全員がアメリカの大学に留学し経済学・経営学の専門科目を英語で学ぶというWEBAS総合コースで学んでいます。そのため、必然的に英語力が身につきます。私たちは、得意な英語を生かして社会貢献するチャンスだと考え、ぜひお手伝いさせていただきたいと思いました。



海外の方をお迎えする小学生たちの英語学習のお手伝いをしました。はじめは、英語を話すこと、そして普段交流のない大学生の私たちに緊張している小学生がほとんどでした。しかし単語の発音がひとつづつできるようになると、積極的に分からないことを質問してくれるようになりました。小学生の学ぶ意欲に私たちが逆に勉強させてもらいましたね。

そして、迎えた6月30日（水）。いよいよ教員団がお越しになる日です。私たちは訪問団の方々を案内する小学生の支援と、「コミュニケーション」を促すための通訳を務めました。最初、小学生のみならず緊張した面持ちでしたが、授業見学が終了し給食を一緒に食べる頃にはすっかり打ち解けていました。

今回、生徒からは「将来私も英語ができる大学生になりたい」「先生方からは「生徒たちには、外国人の方や大学生（WEBAS）との交流が非常に刺激的な体験だったように、英語学習への意欲が向上しました。また、夏休み海外ホームステイに参加する生徒も出ました」とのお話をいただきました。

WEBASは、これまでさまざまな社会貢献に取り組んでいます。今後も私たちが経験してきた「国際交流・留学」「キャリア形成・就職活動」「社会貢献ボランティア」をキーワードに、社会貢献活動に取り組むことで、参加する学生たちの成長、および、学生生活充実の場を創っていきたくと考えています。WEBASの起こしたアクションがきっかけとなり、WEBASと、支援を必要とする人たちが、共に新たな「気づき」を得ることを目標として…。

参加学生

川端遥・辰白裕紀・谷口皇華・西川雄一・濱田恵理華・松原和光（以上経4）・大槻香奈・黒田将平・西山耕平・劉博陽（以上経4）・加納奏子・山中謙（以上経3）（すべてWEBAS総合コース）

※WEBAS総合コースは、現在「マネジメント創造学部」に発展的に継承されています。

なるほど！ 甲南 アカデミア

先生、
知の最前線を
教えてください



世界193カ国をめぐる、 生きた体験から教える 冒険先生。

**旅行というよりは冒険、
生死にかかわる危険も数知れず。**

私が、社会科の教師になったのが、1972年。現在まで世界史を担当しています。歴史の授業は、過去を語るだけでなく、現在にどうつながっているかについても説明する必要がありますが、私は、教師になった当初、自分自身が行ったことがない国について話すことに強い違和感がありました。やがて、その違和感は、自分たちと同時代に生きる人間が、違う地でどんな生活をしているのか、実際に自分で見て説明をしたいという想いに変わり、1973年、欧州10カ国の旅に出ました。以来毎年休暇を利用して世界各国を訪れるようになったのです。これまでに日本を含めた世界の独立国、193カ国すべてを踏破しました。日本人で初めての「踏査」となったインド最北部の秘境の調査、サハラ砂漠縦断、アマゾンの川下り、キリマンジャロ登山など、旅行というよりは冒険に近い旅も数知れず。日本では体験できない出来事にも数

訪れた国は、なんと193カ国。およそ40年間にわたり、休暇を利用して、毎年海外の都市や辺境を訪れ、現地の様子をカメラに収め続ける。
甲南高等学校・中学校の南里章二先生。
こうした旅の写真やスライドからつくった「生きた教材」を使うユニークな授業は、長年にわたり甲南高校の名物授業です。
今回は、「ワクワクする世界史」を実践する、インディージョーンズ顔負けの南里先生の冒険人生に迫ります。



甲南高等学校・中学校
南里 章二 先生

甲南大学大学院人文科学研究科修士課程修了。甲南高校世界史教諭。現在は図書館長も務める。毎夏世界各地を旅した記録を授業に活用し、教科書と違った角度からの歴史への探究は、卒業してもなお生徒たちの心に深く刻まれている。

世界史により人間・人生を学び、 本当の「世界に通用する紳士」 になってほしい。

私の旅の原点は、アフリカです。初めて行ったときの衝撃は忘れられません。これまで20回以上行きましたが、何回行っても面白い。なかでも、1年間留学して、力を入れて研究したテーマが、サハラ砂漠の歴史や文化。塩を運ぶ砂漠の、隊商(アザライ)を追いかけて、サハラ砂漠をランドクルーザーで疾走し続けました。念願が叶って、ラクダの列を従えたアザライたちとの出会いも実現したのです。サハラは、黒人たちの世界にイスラムが色濃く入ったエリア。アフリカと言っても、ひとつではくれない、多様な世界があります。いろんな顔があるから、行くとたびに違う面白さがある。それに、貧しくて、決して衛生面も良くないが、生きている人がたくましくてやさしい。そんな生命力に惹かれます。

世界史は、歴史を見るだけでなく、人間を理解する人生勉強だと思っています。「大人の世界」をのぞく面白さがある。思いつき賢い大人もいれば、女性におぼれて国を滅ぼした王様のように愚かな大人もいる。両方勉強したほうがいいというのが、私の持論です。甲南には、「世界に通用する紳士たれ」という教育理念がありますが、紳士はお高くとまった世界を知っているだけではないですね。本当の紳士とはあらゆる世界を見つめ、そしてどんな人にもやさしさを持って接することができる人。甲南の生徒は、そんな人間に育ってほしいですから。

教師が夢を持たずに、 生徒に夢を持たせることができるのか。

教科書だけでなく「生きた教材」を使った授業がしたいと思ったのは、私自身が子どもの頃、映画から世界史の面白さを知ったからです。授業では、興味の

多く出会いました。現地で撮影した写真やスライドを見せながら私が体験してきたことを伝えると、生徒たちは目を輝かせます。ときには、アフリカの貧困や、アジアで日本が残した戦争の痕跡など、深刻な問題を突きつけることもあります。
訪れる国は政情不安な国も多く、ほとんどがヒッチハイクやバス利用の一人旅のため、数多くの危険な目にもあっています。内戦中のウガンダでは目の前で銃声が聞こえたと思えばタンクローリーが炎上したり、ボツワナでは夜にキャンプ中、草むらから突然ライオンが現れて九死に一生を得ました。最も危険だったのが、同じくボツワナの国境付近から街に向けて車で走行中、ゲリラに間違われ、兵士たちに取り囲まれてライフル銃を突きつけられたこと。その瞬間は落ち着いていたのに、無事キャンプ地に到着して寝袋を出そうとしたとき、1時間ぐらい震えがとまらなかつたのを今でも覚えてますね。車の止め方、降り方、話し方、どれかひとつでも狂っていたら…と想像すると、今でも本当によく生きて帰って来れたなと思います。そんな危険な目にあって、「もう二度と海外へは行かんとこ」と誓っても、しばらくするとまたむずむずしてくるんですけどね(笑)。
※「踏査」…実際にその地へ出かけて調べること。

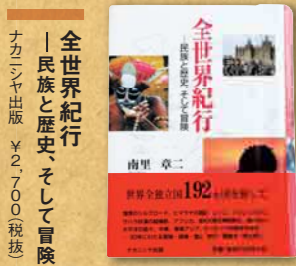
◀数百年続くアフリカ側のゴールドとアラブ側の岩塩の交易、ブラックアフリカとアラブの交流に興味を持ち、サハラ砂漠へ。



▶数百年前からほとんど変わらないであろう伝統的な農牧生活があった、インド最北部の秘境。異なる宗教が対立することなく共存するユートピア。



南里先生の著書



南里先生の30年にわたる冒険・探検・登山・紀行・調査の軌跡がわかる一冊。

「きっかけ」をたくさん与えてあげたいと思うのです。最初の卒業生が現在50代になり、今でもあの頃のスライドを使った授業が面白かったと言ってくれるのを聞くと、やはり教師冥利につきます。なかには私と同じように冒険旅行に飛び出していった卒業生もいます。「先生僕もインドへ行ってきました。あのとき授業で先生が言っていた話が、実際に自分で行って本当だったとよくわかりました」なんて言われることもあって(笑)。私の言葉を覚えていてくれて、なにより実際に自分の体験から感じ取ってくれたことがうれしいなと思います。世界史は、「勝者」から見た歴史として語られることも多いのですが、自分の目で確かめて自分で考える大切さを、生徒たちにはしつこく伝えてきたつもりです。
また、「夢を大切にしないさい」と生徒たちに言つと、その目線は私自身にも必ず同じ言葉を問いかけてきます。私は「自分には夢がある。世界のすべての国をまわる」ととみんなにいつも語って、自分も夢を追い求めてきました。教師が夢を持たずに、どうして生徒に夢を持たせることができるのでしょうか。世界すべての独立国踏破を達成したのが、2001年アフリカのカボベルデでした。入国したときは、「あつけない、こんなもんか」と思ったのですが、空港を出てホテルに着き、荷物をほおいてビールを飲んだときに、やっと実感がこみあげてきたんです。同時に、「これは決してゴールでなく、まだ通過点だな」と思いました。今でも、まだまだ私は夢の途中です。

「おいしいワインをたくさんの人に届けたい！」 憧れのフランスで願いを叶えた卒業生。

毎号フランス甲南学園トゥレーヌから生徒たちの様子をお届けするこのコーナー。
今回は、少々趣向を変えて、フランスで生き生きと暮らすトゥレーヌOGをご紹介します。

毎日が新鮮でエキサイティング だったトゥレーヌ時代

フランスを初めて訪れたのは、1995年、トゥレーヌ甲南学園高等部（現フランス甲南学園トゥレーヌ高等部。以下、トゥレーヌ）へ入学したときです。今年で丸15年がたちますが、まさか自分がフランスで住むことになるなんて思ってもみませんでした。トゥレーヌでは寮生活が基本です。私にとっては、親元を離れて暮らすのも、外国に住むのも、寮で集団生活を送るのも初めて。しかも、一緒に寮生活を送るトゥレーヌの中・高生たちは、同じ日本人とはいえ極めて個性的な人ばかり。入学当初はひどく戸惑いましたね。喜怒哀楽が激しい思春期の子どもたちの感情がぶつかる寮生活。そんな中で私がまず身につけたものは、「人間関係を潤滑に営む術」でした（笑）。高校時代を振り返ってみると、「最高にエキサイティングな3年間だった」の一言に尽きます。生活スタイル以外でも、見るもの、学ぶもの、経験するものすべてが新鮮で刺激的でしたから。私は、高校の三年間という限られた時間を一秒も無駄にしたくありませんでした。フランス語ができなくても、未経験のことでも、自信がなくても、「まずは何でも、やってみる!」その精神で毎日を送りました。おかげで、自分の未来を切り開いていく力や生きる「知恵」も身についたと思います。もちろん、フランス語の勉強もがんばりましたよ。



▲結婚式に駆けつけてくれたホームステイ先のCOUEDEL夫妻と一緒に。

藤井まき子氏
1998年トゥレーヌ甲南学園高等部卒業、2002年甲南大学文学部社会学科卒業。日本の企業を退職後、フランス・ボヌ村の観光局に入局。同局勤務を経て国立ボヌ農業促進・職業訓練センター（CFPPA）へ入校、ワインマーケティングを専攻しました。現在は、夫の経営するワインショップ・ワインバーMAGNUMにおいて、日本への輸出業務に携わっています。

フランスへの思いがふくらみ、 現地で暮らすことを決意

大学は甲南へ進学。大学卒業後は一旦日本の会社に就職しましたが、仕事で多くのフランス人とやり取りするなかで、フランスでもう一度自分を試してみたいという気持ちが沸々とこみ上げてきました。そんな折、縁があってフランス政府観光局ボヌ支部で仕事をする機会を得ました。観光局のあったフランス・ブルゴーニュ地方、現在私が住んでいるボヌは、城壁に囲まれる小さな村で、フランスワインを代表するブルゴーニュワインの名産地でもあり、毎年世界中から多くの観光客が訪れます。私は、ワイン輸入業者をワイナリーへ案内し通訳する業務をこなすうち、ワインを本格的に学ぼうと決意し、専門性の高い授業で定評のある国立ボヌ農業促進・職業訓練センター（CFPPA）へ入校、ワインマーケティングを専攻しました。CFPPAのクラスメイトは全員フランス人。当たり前ながら、授業で先生方が話すフランス語のスピードは容赦ありません。そのうえ、ワインに関する専門用語が多すぎて理解できず、はじめは大変苦労しました。1日3時間2コマの授業を、ノートととりつつ録音し、帰宅後録音を聞き取りノートに記録、その日の授業を復習しなおす毎日。その甲斐あって、無事認定資格を取得しました。一旦、日本に帰国しワイン輸入業務に携わったあと、3度目の渡仏をし、今の主人と知り合い2008年6月に結婚しました。

現在は、ボヌというフランスの小さな村で、主人が経営するワインショップ・ワインバーMAGNUMを手伝っています。夫と私の願いは、フランス・ボヌ村の風とともにフレッシュでおいしいワインをたくさんの方へお届けすること。ワイン

フランスでも日本人であることを 忘れず生きていきたい

ショップMAGNUMでは、希少な銘柄も現地ならではの魅力的な価格でご提供しています。日本からのご購入も可能ですし、パリには無料で配達もしています。詳細はメールにてお問い合わせください。ところで、フランスでは、日本人の私は当然外国人。フランス人と対等にこの地で生きることが決して簡単なことではありません。残念なことですが、軽い差別にあうことがよくあります。たとえば、朝市に行くと、見た目明らかにフランス人ではないと分かる私に対して、熟れていない果物や野菜を渡されたり、フランス人よりお値段が高かったり。カフェでも、頼んでいないものがお勘定に記載されていたり。日本では有り得ないですね。聞くところによると、フランスの詐欺師が狙うのは、お年寄りか、外国人。特に日本人は、何でもハイハイとうなぎお金も持っていると思われるらしいんです。それを知ったときには、ショックでしたね。でも、私はフランスが好きで、おそろぐずとフランスで暮らしていくと思うので、こうしたマイナス面にもめげずに、どんどん新しいことにチャレンジして、人生を邁進していきたいですね。そして、何年たっても変わらず、日本人のいいところや自分らしさを失うことなく暮らしていこうと思います。今の私があるのは、高校卒業後の進路、大学・それ以降の人生のなかでの様々な選択場面において、まずは私を信じて、好きなように選択・決断をさせてくれた両親、いつも見守ってくれているトゥレーヌ時代の友人・ホームステイ先のホストファミリー、大学・社会人時代の友人先輩後輩の存在があるから。帰る場所があるという安心感があるからこそ、今もがんばれるんです。この場を借りてお礼を言いたいです。ありがとう!

ボヌは、ブドウ畑に囲まれたワインの都であり、中世の時代からワインとともに発展し、かわいらしい街並みが大切にされてきたとてすばらしいところ。フランスにいらしゃることがあれば、ぜひ足を伸ばしてボヌまでお越しください。おいしいワインとともにお待ちしております!

ワインショップ・ワインバー MAGNUM
15 RUE MONGE,
21200 BEAUNE FRANCE
TEL : 03.80.22.69.44 /
日本から: (+33) 3.80.22.69.44
携帯: 06.83.63.63.26 /
日本から: (+33) 6.83.63.63.26
WEB SITE:
<http://www.magnum-vins.com>

※ワインのご購入を希望される方は、メールでお問い合わせください。
また、メールマガジン送信のご登録をいただければ、価格・内容ともに魅力的な新着ワインリストのご案内を送っていただけます。
e-mail: magnum.makiko@orange.fr

フランス甲南学園トゥレーヌのことをもっと詳しく知りたい方はこちら
フランス甲南学園 TEL 078-453-0115
トゥレーヌ日本事務所 <http://t-konan.jp/>

TOPICS

めざすは優勝! 全国大会で活躍する甲南生たち。

甲南高等学校・中学校は、平生飢三郎が掲げる教育理念「徳・体・知」のバランスを大切に、クラブ活動においても人間性を育む教育を行っています。そこで、日々の練習を重ね、大きく成長する甲南生と、その活躍によって全国大会に出場する体育会系・文化系クラブをご紹介します。

弓道部

甲南の代表としてだけでなく、兵庫県代表としても上位に食い込みたいと思います。

甲南高等学校3年生
黒田 龍之介
インターハイ出場

ジャズアンサンブル部

ジャズの甲子園で3年連続優勝。4連覇という伝説を残せるようがんばって、先輩方から受け継いだ、「たすき」を後輩に渡したいです。

甲南高等学校2年生
鈴木 大元
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL出場

アーチェリー部

去年は惜しくも上位に入ることができませんでしたが、今年は甲南らしいチームワークで、先輩方が成し遂げた優勝に近づけるようがんばります。

甲南高等学校3年生
新原 知治
インターハイ出場

昨年度はベスト8出場。今年度は優勝をねらいたと思います。

甲南高等学校3年生 上原 伊織
インターハイ出場

初出場で、より上をめざしたいと思います。

甲南高等学校3年生 金江 紀幸
インターハイ出場

団体戦では全国初出場。ここで立ち止まらず、メンバー全員が一丸となって全国制覇を目標にがんばりたいと思います。

甲南高等学校3年生
上村 将司(左)
全国大会団体の部出場
日本ジュニアゴルフ競技出場

高校テニス部

2回目の全国大会なので、しっかりと自分の実力が発揮できるように努力します。今年度は優勝を狙います。

甲南高等学校2年生
三上 陽二郎(右)
全国大会個人の部出場
日本ジュニアゴルフ競技出場

中学テニス部

リーダーシップを発揮し、みんなの気持ちをひとつにまとめて、チームワークで全国大会団体戦を優勝したいと思います。

甲南中学校3年生
田中 聡介
全国大会出場

高校ゴルフ部

今年のメンバーは4人中3人が初の全国大会出場なので、お互いに励まし合って、良い成績で終われるようにしたいです。

甲南中学校3年生
高橋 聡
全国大会団体の部出場

中学ゴルフ部

初回の全国大会ですが、出場するからには、全国制覇をめざして挑戦したいと思います。

甲南高等学校2年生
森 亜嵐
俳句甲子園
全国大会出場

文芸部

全国レベルの兵庫県予選大会を勝ち抜くことができたので、自信を持って挑みたいと思います。

甲南高等学校3年生
杉野 豊
高校竜王戦
全国大会出場

ホッケー部

去年は1回戦で負けてしまい、悔しい思いをしました。今年度は全国ベスト8を目標に、チームのために走ってがんばります。

甲南高等学校3年生
歌田 将哉
インターハイ出場

馬術部

今年度は団体出場することができなかったため、この悔しさを出場できた個人戦につけて、全国制覇をめざします。

甲南高等学校3年生
吉井 崇師
インターハイ出場

将棋部

今年度は団体出場することができなかつたので、この悔しさを出場できた個人戦につけて、全国制覇をめざします。

甲南高等学校2年生
中 拓海
全国高校将棋選手権大会出場

We Love Sweets.

大好きなスイーツで起業した現役生 & 卒業生。

彩り豊かなかわいらしさと、思わず笑顔になる甘い味覚で、多くの人々を魅了するスイーツ。今、ブームのスイーツショップを立ち上げ、経営者として活躍する甲南卒業生と甲南大学生がいます。「スイーツで起業」という共通のテーマを持つ2人が抱く、スイーツへの思いや起業の考え方に迫りました。



経営スタイルの違いに刺激を受ける、2人の経営者

山本 今日は、甲南大学の先輩であり、起業家として経営者としても先輩である河本さんに、いろいろとアドバイスをいただけたらと思っています。

河本 お互いにお菓子業界に身を置く者として、私も情報を交換できればと思っています。実は、この取材の前にこそ山本さんのお店「ミス・ドルチェ」を偵察に行っただけですよ(笑)。正直、「やられた！」と思いましたね。

山本 エー！本当ですか？
河本 かわいらしさを全面に打ち出したおしゃれな内装やケーキのパッケージ、そしてなんといってもショーケースがお店にないのが斬新！
山本 ショーケースがないスイーツショップなんて、普通ないですよ(笑)。でも、店の前を通る人に「こっつて何屋さん？」というちょっとした「？」を投げかけたかっ

たんです。

河本 外から見るとキラキラしたかわいらしいお店でも、何を売っているかは分からない。それって、すごく気になりますよね。お店のコンセプトから内装デザインまで、ある程度飲食業界で経験を積んだ経営者にはない発想がたくさんつまっていることに驚かされました。若さってすばらしい(笑)。

山本 ありがとうございます。自分の好きな物を、自分らしいスタイルで売りたいと思った結果なんです。

河本 その「好きなこと」が、うまく時代にマッチングしているところもいいと思います。お菓子業界ってファッション業界と近いものがあつて、トレンドがあるじゃないですか。センスある若い人がスイーツショップをするところなのか、と刺激になりました。



Miss Dolce

山本 理沙子さん

経済学部EBA総合コース4年次

留学で訪れたニューヨークのレストランで食べたチーズケーキに感動。この感動をたくさんの人に伝えたいという思いから、チーズケーキ専門店「Miss Dolce(ミス・ドルチェ)」を開店。身体にやさしい安全な材料を使用するという自分のこだわりも取り入れ、経営者と学生を両立する多忙な毎日を送っている。



から始まると思っています。売れるからといって、どんなことをしてもいいという考えは私にはありません。それは、やっぱりスイーツが好きだから、商品には妥協をしたくないんです。だから、国際展開する際もその限界を見極めながら慎重に行動したいと考えています。

山本 同感ですね。私も素材の仕入れからケーキが焼き上がるまで、すべてチェックするようにしています。

河本 それはいい心がけですね。でも、大学生との両立は大変じゃないですか？

山本 実は、卒業必要単位はすでにほぼ取得済みなんです(笑)。おかげで大学にもお店にも通えています。ミス・ドルチェのケーキはひとつずつ手づくりで、100%同じ物をつくるのが難しい。だからこそ、すべてのケーキをおいしく焼き上げるように、できる限りのことはしたいと思っています。

河本 スイーツを手がける者として、お客様にはいつもおいしいスイーツを味わっていただきたいという気持ちがありますよね。

山本 そうですね。お客様のよろこんでくださるお顔を思い浮かべながら心をこめてつくっています。

河本 スイーツって、たくさんの人をワクワクさせる不思議な魅力がありますよね。コース料理でスイーツがおいしくないと、すべてが台無しになった気がしませんか？

山本 それすごく分かります(笑)。料理がおいしくても、最後のスイーツがいまいちだとフィニッシュが下がりますよね。
河本 人の気持ちをここまで揺さぶるスイーツって、やっぱり奥が深いですね。私は、スイーツって嗜好品だけど、なければ絶対困る！というような商品をつくり続けたいです。



東京丸の内ロール

山本 お店やケーキを通じて、お客様に大切な時間を幸せに過ごしていただけたらうれしいですね。私が店のスタイルにこだわる一方で、河本さんは店舗を持たずに、ネット販売や百貨店などの物産展を通じて自社ブランド「東京丸の内ロール」を全国に展開なさってますよね？その販売スタイルに興味があるのですが…。

河本 そうですね。もともと東京丸の内内に店を構えていたんですけど、自社ブランドをつくるにつれていくつうで、店舗は必要不可欠ではないと考えたんです。

山本 それはなぜですか？
河本 今後、日本だけでなく、アジアをはじめ世界のマーケットを意識することになったとき、自社店舗で売るより、外部の販路で展開していく戦略の方がマーケットを拡大しやすいと判断したんです。
山本 すごい！国際展開も視野に入れているんですね。他にも芸能人とコラボレートして商品を売り出すなど、企画力やプロモーションの方法が特徴的で勉強になります！

河本 そうなんです。「企画力」が私の売りですから。

河本 陽介さん

2000年甲南大学経営学部卒業
株式会社TMR 代表取締役

学生時代から、実際に飲食店経営にかかわり勉強の日々。そして2007年、自ら考案したスイーツブランド「東京丸の内ロール」をスタートさせ、完全独立を果たす。自社店舗を持たない販売スタイルを確立するなど、独自の経営戦略で事業拡大に奮闘する。

スイーツが大好き！だから、妥協をしたくない

山本 私はまだお店をオープンして半年ほどですので、今後のためにもぜひお聞きしておきたいのですが、経営者として心がけておられることは何ですか？

河本 たくさんのスイーツショップのなかで生き残るために、自社ブランドの価値を高めることが最重要だと感じています。味などの品質を高く保ち続けたり、先ほどお話ししたように、企画力でよりオリジナリティを出したりするのは当然のことですが、売れるからといって販路を広げすぎないことも大切だと思います。私は生産工場から販路まで、すべてを自分の目でチェックしていますので、どうしても管理に限界が出てくるんですよ。

山本 過剰な販路拡大から品質が落ちてしまうということですか？
河本 そうです。ブランドの向上は、安心・安全を当たり前前に提供できるところ

オール甲南の集い2010

5/23日
in 岡本
キャンパス

REPORT

本年も「オール甲南の集い」が5月23日(日)に開催されました。当日は、「小さな嵐」ともいえるあいにくの天候。しかし、たくさんの方が風雨のなかお越しくださいました。ありがとうございました!

オープニングセレモニー

MBSアナウンサー大吉洋平さん(OB・2008年卒)による各プログラム紹介で幕を開けました。

オープニングプログラム

「くだおれ女将の しなやかな根性」 ～柿木道子氏トークショー～

ほかでは絶対聞けない柿木さんの甲南大生時代のエピソードに加え、くだおれに就職してから女将として大活躍のお話まで、まったく退屈させない名調子でお聴かせいただきました。くだおれ名物の「たこ焼き音頭」を柿木さんと観客の方々が一緒に踊る一幕も。「一期一会」をモットーとする柿木さんのお人柄が伝わる楽しくあたたかいトークショーとなりました。また、対談相手となった、大吉洋平さんのトーク力も光りました!



カフェKONAN Blue Note

いつものカフェ・パンセが、JAZZ研究会の演奏でよりおしゃれに!



ミニサッカー大会

こちらも毎年恒例! 飛び入り参加も多数あり、大いに盛り上がりました!

プレゼントのお知らせ

柿木さんより、読者のみなさんへのプレゼント用に著書をいただきました。直筆サイン入りです。同封のアンケートはがきにてご応募ください。抽選で5名様プレゼントいたします。

「くだおれ波乱万文記」定価1,300円(税抜) 家の光協会 ▲



お祭り広場

今年のお祭り広場は、美術部(現役・卒業生)による似顔絵・アクセサリづくり、児童福祉研究会によるぬりえ・貯金箱づくり、卒業生によるバルーンアートで、悪天候をものともしない人ばかり! 会場にはたくさんのファミリーの笑顔があふれていました。



憩いの広場

毎年恒例、茶華道料理研究部道心会のお茶とお料理でホッとひとときをご提供しました。



記念写真撮影コーナー

今年初の試みで、写真部による記念撮影を行いました。

コンサート 「オール甲南夢舞台」



プロの演歌歌手 瀬口侑希さん(OG・1998年法卒)の歌唱力に、聴衆の皆さんが酔いしれました。また、大学のJAZZ研究会・グリーンクラブ・吹奏楽部、高中のプラスアンサンブル部といった課外活動団体もすばらしい演奏を披露しました。

その他、柿木道子氏「四季の情景とまごころメッセージ展」、親子でつくろう工作教室(スワロフスキーアクセサリ/竹とんぼ・ペーゴマ)、模擬店・物産展、甲南の歴史を振り返る写真展、クラブ・ゼミOB会(事前申込をいただいた団体)、豪華商品が当たるスタンプラリーなどを実施しました。



甲南パティスリー対談



経営とは人とのつながりを大切にすべし

山本 ところで、河本さんが人の上に立つにあたって心がけていることを教えてくださいませんか?
河本 「人を大切にすること」です

プレゼント

チーズケーキをお買いあげ時に「甲南Today」を見たとおっしゃっていただければ、特製クッキーをさしあげます。
[2010年12月の最終営業日まで]



小麦粉を使わず、イタリア産リコッタチーズと十勝産無添加生クリームで焼き上げたチーズケーキは、高タンパク、低カロリーで女性だけでなく男性にも人気。NYの有名店「MARIE BELLE」の紅茶が、常時店頭には国内ではMiss Dolceだけ。また、オリジナルのオーガニック紅茶も扱っている。

大阪市西区北堀江1-17-1 Cor105-1
(大阪市営地下鉄四つ橋線 四ツ橋駅4番出口から徒歩2分)
TEL:06-6539-0138



ね。自分だけじゃ大したことはできませんから。あと、この業界はスイーツが好きじゃないとやっていけないと思うので、スイーツを愛する人と一緒に仕事をするようにしていますね。
山本 私のスタッフ選びのポイントも「お菓子を食するのが好きなこと」と「ミス・ドルチェを大好きでいてくれること」。スタッフはみんな同世代だから、意見交換しやすいんです。私は、みんなの意見を聞きたいタイプだから。
河本 もし、意見が対立した場合は?
山本 自分の信念を通します。
河本 私もです(笑)。経営者ですから、決断することは必要ですよ。ところで、ぜひ聞きたかったのですが、大学生でお店をオープンすることに不安はなかったですか?
山本 それはもう不安でいっぱいでした。

プレゼント

東京丸の内ロールWEBSHOPの商品ご注文時に「甲南Today」を見た備考欄に記載いただけますと、プチシフォンを1袋差しあげます。
[2010年12月末日ご注文分まで]

丸の内ロール TOKYO MARUNOUCHI ROLL



東京丸の内発信として人気を集めるロールケーキの専門ブランド。①たっぷりのクリームを厚めの生地で包み込んだボリューム満点のロールケーキ。②ひとつひとつ手作りで焼き上げることが懐かしも新しい一品。昔懐かしいベビーカステラを現代版にしました。③特製のメープルシロップで表面をブリュレ。体にやさしいカロチンオイルも使用しています。他にも、定番商品から有名人とコラボレートした期間限定商品などあります。

WEBSHOP (お取り寄せ・販売取り扱い店情報)
http://www.marunouchiroll-shop.com/
東京都千代田区丸の内1-11-1PCP8F TEL:03-6860-8485(代表)



経営やビジネスを学んでいましたが、いざ実際に起業するとなるとわからないこともありましたし...
河本 でも、立派にお店を経営していますよね。その行動力がまだ学生なのにすばらしいと思います。
山本 考えているだけでは進まないし、楽しくない。だったらいっそ挑戦してみよう。努力して達成感を味わうのが好きなタイプです。「若いから挑戦しやすい」かな、と。それに、甲南って学生の個性を尊重し応援してくれる大学じゃないですか。先生に相談したら、すごく協力してくださって、「経営に詳しい知り合いを紹介するよ」とまで言うてくださったって、すごく心強かったです。
河本 山本さんのように、もしも甲南生

のなかで、起業を考えている学生がいるなら、どんどん挑戦してほしいですね。そして、学生のときには勉強も遊びも、しっかりとしておく。先生を質問攻めにして、「授業料のものを取る」くらいの勢いで(笑)。そして、お互いに影響しあえるいい友達をつくることも心がけてほしいですね。私は今も甲南大学の時代の友人の多くと交流があって、プライベートだけでなく、仕事のうえでも助けてもらっています。
山本 学生時代の交流が深ければ深いほど、絆は深まりますものね。
河本 人とのつながりの重要性は卒業して社会に出てから、初めて実感することかもしれない。甲南は、人と人とのつながりが大切にされている学校。この財産を大切にしていきたいし、後輩たちにも大切にしてほしいと思っています。
山本 私も河本さんのように、卒業してからも仲間とつながりたいと思います。

第一線で活躍する卒業生に、
ご自身の生き方について
おうかがいするこのコーナー。
今回は、毎日放送(MBS)の
アナウンサーとして
さまざまなテレビ・
ラジオ番組で
活躍する大吉洋平さんに
インタビューします。



華やかな表舞台の裏では、
取材と勉強の毎日。

毎日放送(MBS)に入社して3年目の
現在、アナウンサーとして、「ちんぷいぷい」
「VOICE」 「魔法のレストラン」など
のテレビ番組に出演しています。また、
ワールドカップ南アフリカ大会やバンクー
バーオリンピックなどで、現地レポーター
も担当してきました。

アナウンサーの仕事は、視聴者の方々に
は華やかな世界に見えるかも知れませんが

テレビに映る1の部分をつくるために、
映らない99の部分で努力することが、
アナウンサーという仕事なんです。

ね。たしかに、映画のPRなどで渡辺謙さ
んやトム・クルーズさんといったビッグネー
ムにインタビューをしたり、芸能人の方と
一緒に口元に行く機会も多くあるなど、
華やかな面もあります。しかし、アナウン
サーの仕事は100とすれば、実は華やか
な部分は1ぐらい。アナウンサーはジャー
ナリストでもありませんから、残りの99は取
材や勉強を繰り返す地道な仕事でもあ
るんです。たとえば、7月の参議院選挙で
中継を担当したときも、候補者の顔写真
を貼り、プロフィールや現在の状況を書き
込んだノートをつくるなど、必死で勉強し
ました。また、普段は漢字の単語カードを
つくり持ち歩いています。漢字が読めなく
ては仕事になりませんし、自分が恥をかく
だけでなく、番組のクオリティを下げること
になってしまいますから。テレビに映る
1の部分をつくるために、映らない99の部
分を努力することが、アナウンサーという
仕事なんです。

初めての海外中継。
夢が叶ったバンクーバー五輪。

私がアナウンサーをめざしたきっかけ
は、フジテレビの須田哲夫アナウンサーに
憧れたこと。中学生の頃に毎朝見ている



株式会社毎日放送(MBS)
アナウンサー室 アナウンスセンター
[2008年甲南大学経営学部EBA総合コース卒業]

大吉 洋平氏



2008年甲南大学経営学部EBA総合コース卒業後、毎日放送に入社。
「ちんぷいぷい」「VOICE」「魔法のレストラン」「モーニングミックス」
「ええなあ」など、多数のテレビ・ラジオ番組に出演中。趣味はバイクと旅
行。旅行は非日常な空間に身を置き、リセットし、世界のなかでは自分が
ちっぽけな存在であることを知る良い機会である、という大吉さん。昨夏は
プライベートでインドネシアの秘境を訪れるなど行動派。

「めざましテレビ」のなかで、須田さんがマ
ンハッタンの街角からニューヨークの最新
情報をレポートするコーナーがありました。
当時の私はニューヨークに行けたことが
なかったのですが、毎朝このコーナーを見
ているうちに、マンハッタンの様子が目に浮
かぶほど詳しくなり、アメリカという国に
興味を持ちました。そして同時に、「ニユー
ヨークの情報を魅力的に伝える須田さん
の姿に惹かれ、「いつか自分もアナウンサー
になって、海外から中継してみたい」とい
う思いを抱いたのです。

そうした経緯があったため、初めて海外
中継を担当したバンクーバーオリンピック
は、私にとって思い出深い仕事です。オリ
ンピックに沸くバンクーバーの様子を現
地からレポートしました。「中継5秒前」
と言われたときには、思わず涙が出そう
になりましたね。「海外中継の仕事をや
りたくてアナウンサーになった。それが今か
らできるんだ!」って。普段はあまり緊張
しないのですが、このときはかなり緊張
しました。中継後は、夢が叶ったうれしさか
ら、アナウンサーをめざした頃の気持ちなど
を思い出して、胸が熱くなりました。

これからの仕事での目標は、やはり、海
外中継の仕事をもっと担当していくこと
ですね。海外からの中継は音声が遅れるた
め、国内からの中継よりも難しくなりま
す。よりクオリティを高めて、現地の情報
を生き生きと伝えられるようになりたい
ですね。2年後のロンドンオリンピックも
担当できればと思っています。

時間ができれば旅をし、
ちっぽけな自分を再認識する。

趣味はバイクと旅行です。忙しい合間
を縫って、できるだけ旅に出ています。海



外に出ると、「ああ、自分が住んでいる関
西って、世界のこく一部なんだ。自分は
ちっぽけな存在だな」って思います。テレビ
に出ているということで特別な人間のよ
うに言われることがあって、いつの間にか
自分でもそう勘違いしてしまっているな
で、旅をすることで、自分の小ささを再
認識しています。

OB同士の絆の強さこそ
ほかにはない甲南の魅力。

私が甲南大学に入学したのは、*EBA
総合コースの存在を知ったことが大きか
ったですね。アメリカに留学したいと思っ
ていた私にとって、1年間アメリカの大学に留
学でき、語学だけでなくビジネスや経営
についても学べるEBAは、100%希望
を満たす学部でした。

大学時代はアルバイトで貯めたお金で
日本全国を旅したほか、語学の勉強に力
を入れていましたね。EBAでは、2年次



にアメリカの大学へ留学しますが、そのた
めにはTOEFLで一定以上のスコアを取
ることが必要。また、高得点を取らなくて
は現地の大学で履修できる科目の範囲が
狭くなるため、猛勉強しました。アメリカ
へ留学し、語学力を磨いたことは、現在の
仕事でも非常に役立っています。入社3
年目の私が、オリンピック、ワールドカッ
プ、上海万博といった海外からの中継を
担当することができたのは、甲南で身に付
けた語学力を評価されたことですね。

また、EBAは1学年30数名という少
人数のコースなので、クラスメイトとの絆
が強く、一生の友となる仲間が多くでき
ました。一緒に留学していたので、悩んで
いる仲間がいればみんなで励ますなど、ト
ラブルがあったときには全員で支え合い乗り
越えました。ときにはケンカをすることも
ありましたが、本気でぶつかる仲間を得
られたことが、大学時代の一番の財産で
すね。EBAの仲間とは今でも親しく、頻
繁に会っています。



社会に出て感じるのは、甲南ほどOB
同士の絆が強い学校は珍しいということ。
仕事でさまざまな方と出会いますが、甲
南出身ということが分かれば一気に距離
が近くなりますし、甲南の先輩方は後輩
をととても大事にしてくれます。また、甲南
OBのなかには、社会で活躍する著名な
方もたくさんいらっしゃいますよね。甲南
大学の偏差値などの評価以上だと思いま
す。甲南卒業というだけで、そうした方々
のコミュニティに入れてもらうことができ
る。社会に出ても、甲南出身で得をす
ることが多いのではないかと思います。私
自身も、「オール甲南の集い」や講演会で
司会を務めるなど、今も大学とかかわり
を持っていますし、アナウンサー志望の学
生さんで私の話を聞きたいという人がい
るなら、時間を見つけて話をしたいと思っ
ています。これからも甲南とのつながりを大切
にしていきたいですね。

*EBA総合コースは、現在マネジメント創
造学部に発展的に継承されています。

ACTって?

甲南大学が御影クラッセと提携し、街と御影クラッセに来られるお客様・スタッフの方々、甲南大学の学生と教職員がコラボレーションして開催するセミナーやイベントのことで、学生のクラブ団体によるイベント、甲南大学教員および学生によるセミナーや講座を行い、東灘区から新しい「産・学・地域連携」を発信したい。

Active & Academic Community Team

左記の頭文字をあわせたもので、甲南大学と御影クラッセ、地域が協働一体となって企画・実施しようという意味が込められています。



第1回
5月開催



チアリーディング部のパフォーマンスとJAZZ研究会の演奏で、会場は大きにぎわいました。



第3回
7月開催

理工学部梶野教授による子ども向け講座「親子サイエンス教室・宇宙のふしぎについて」で、教授の話に興味津津の子どもたち。



第2回
6月開催

吹奏楽部が奏でる息のあった演奏に、住民の方々も聞き入っていらっしゃいました。

今後のスケジュール

ACT7
理工学部・田中修教授
による講演会
「秋を魅せる植物たち」
10/30(土)
御影クラッセ
午後2回開催



第3回の講座は、子ども向けのわかりやすいもので、宇宙のことについてあまり知らない僕でしたが、一緒に楽しく学ぶことができました。また、ぜひ参加したいです。
(文学部2年次・後藤 義明)



第2回と第3回に参加させてもらいました。甲南大学が地域と連携を図るこのイベントは、老若男女を問わず楽しめる内容になっています。こういったイベントをどんどん行い、地域とかがわっていくことは学生にとってもいい経験になると思います。
(文学部2年次・郷原 佑太)

取材メンバーからの 体験コメント

御影クラッセとは?

約70の専門店、飲食店などが出店するショッピングモールです。食料品やファッション、おしゃれな雑貨などの日用品が手に入るのはもちろん、大型書店、本格スイーツに加え、美容室や、マッサージ店、キッズスペースなどの施設も整っており、充実した時間を過ごせます。

こちら 甲南特捜部 PART②

本年5月1日に、甲南大学は、御影クラッセ(阪神御影駅前/住商アーバン開発株式会社)と地域連携協定を結びました。これは、お互いの人材、施設、知識、情報などの資源を有効活用し、地域社会の発展や教育・文化の振興をめざすもので、その第一歩として甲南大学の学生がイベントを企画。甲南大学と御影クラッセとのコラボレーションによるイベントの模様をお伝えします。

甲南大学と御影クラッセが連携。 地域密着型の「ACTイベント」を始動!

現在の御影クラッセは、阪神間で最古の駅舎で、今もなお現役です。また、神戸市内駅の乗車ラッキングでは、普通電車のみならず、7位にランクインするほどの利用者数を誇っています(2008年度データより)。そんな御影クラッセを、今日私たちが利用できるのは、当時の地元住民の方々による熱意ある行動のおかげなのです。

こちら 甲南特捜部 PART①

甲南大学鉄道研究部が、 摂津本山駅の誕生秘話を調査。

甲南大学生が利用する駅の一つ、東海道本線(JR神戸線)「摂津本山駅」。今回は、この摂津本山駅の歴史を甲南大学鉄道研究部が調査しました。

土地と建設費用は住民が負担！
政府に直談判して
誕生した摂津本山駅。

「摂津本山駅」は、今こそ甲南大学生が普段何気なく利用していますが、1919年甲南大学の前身 甲南中学校が設立されたとき、まだ摂津本山駅はありませんでした。1874年5月には東海道本線が開通しましたが、摂津本山駅が設置されるのは、その60年後のことです。阪神間の鉄道の歴史はというと、1905年に阪神電鉄が開通し、「青木駅」が開業。その後、1920年には阪神急行電鉄(現：阪急電鉄)が開通し、「岡本駅」が開業。1935年12月、地元住民たちの念願だった摂津本山駅が開業しました。地元住民は駅の名を「本山駅」と希望しましたが、駅名は旧国名「摂津国」と地域名「本山村」を合わせ、「摂津本山駅」に決まりました。



1971年当時の摂津本山駅。定期列車として終極を迎えた蒸気機関車SLの旅が臨時列車として走っていました。



撮影・写真提供：松本崇氏(鉄道研究部08・1972年 営卒)

現在の摂津本山駅は、阪神間で最古の駅舎で、今もなお現役です。また、神戸市内駅の乗車ラッキングでは、普通電車のみならず、7位にランクインするほどの利用者数を誇っています(2008年度データより)。そんな御影クラッセを、今日私たちが利用できるのは、当時の地元住民の方々による熱意ある行動のおかげなのです。

「摂津本山駅」は、今こそ甲南大学生が普段何気なく利用していますが、1919年甲南大学の前身 甲南中学校が設立されたとき、まだ摂津本山駅はありませんでした。1874年5月には東海道本線が開通しましたが、摂津本山駅が設置されるのは、その60年後のことです。阪神間の鉄道の歴史はというと、1905年に阪神電鉄が開通し、「青木駅」が開業。その後、1920年には阪神急行電鉄(現：阪急電鉄)が開通し、「岡本駅」が開業。1935年12月、地元住民たちの念願だった摂津本山駅が開業しました。地元住民は駅の名を「本山駅」と希望しましたが、駅名は旧国名「摂津国」と地域名「本山村」を合わせ、「摂津本山駅」に決まりました。



鉄道豆知識

線路に敷かれていた砂利は「バラスト」。



線路に敷き詰められている砂利は「バラスト」と呼ばれ、英語の「Ballast(安定させる)」に由来します。これは、枕木を固定し、線路から伝わる衝撃を均等に分散させるためにあります。しかし、高速で走行する列車がバラストを飛散させるなどの問題もあり、新幹線の一部の駅などでは、飛散防止シートを取り付けたり、バラストを接着剤で固めるなどの対策がとられています。現在の主流は、コンクリートに枕木を固定して線路を支える「スラブ軌道」。そのうち、石の敷かれた線路が見られなくなる日も来るかも知れませんね!

鉄道研究部紹介

甲南大学鉄道研究部は1960年に発足し、昨年、創部50周年を迎えたことで記念列車を運行させました。鉄道研究部の活動は年間テーマに沿った研究に取り組み、摂津祭で研究成果を発表しています。その際、鉄道模型の展示・運転も行っています。今年の活動テーマは「名古屋の交通事情」で大阪との対比を計画中です。

鉄道研究部のホームページがリニューアル!

●鉄道研究部HPのURL
<http://konan-railway.hp.infoseek.co.jp>



JRの切符は分割で買つと安くなる場合がある?

神戸⇄京都間は私鉄線(阪急・阪神など)との競争が激しいため、特定運賃区間に指定されています。この特定運賃区間を含む区間を利用する場合、切符を「分割」して購入する方が安くなる場合があります。

たとえば

特定区間を利用して大阪から明石に行く場合	
●普通に購入 大阪~明石 (51~60km)	890円
●分割購入 大阪~神戸 (31~35km) 神戸~明石 (16~20km)	390円 + 290円 = 680円
	210円も お得に!

特定運賃区間以外の区間では通常の運賃になってしまったため、またがって利用するには特定運賃に指定されている区間の端の駅で分割した切符を、事前に購入しておきましょう。切符は、「みどりの窓口」または「みどりの券売機」で購入できます(みどりの券売機は、乗車駅と降車駅を選択できるので、大阪から明石に行く場合は「大阪⇄神戸」「神戸⇄明石」の2枚の切符を購入します)。

※分割購入は、特定運賃区間と通常運賃区間のバランスにより、1枚で購入するよりも高くなる場合があります。ご注意ください。

毎週火曜日 14時40分～16時10分
どなたでも無料でご参加いただけます!

1版 2010年(平成22年)10月

「日本の医師数、先進国で最低!」「日本経済はどうなる!」「地方自治体の赤字、犯人はだれ!」

真実はどこにある?

新聞を読み解き、情報活用力を養う 文学部で朝日新聞社との 連携講座が開講します!

われわれが、自ら現場に移動することなく、日本や世界各地の出来事を知ることができるのは、新聞やテレビ、インターネットといったメディアのおかげです。その意味で、メディアはわれわれの「現実・リアリティ」をつくっていると言っても過言ではないでしょう。

このたび、文学部では、朝日新聞社とのタイアップで、メディアの最前線に立つ新聞記者や報道カメラマン、さらには彼らから配信された内容を記事として紙面に構成・編集・校閲する方々を毎回講師としてお招きして、多様な分野の多彩なお話をさせていただきます。ナビゲーターは、朝日新聞大阪本社・代表室長補佐の草川誠氏と、本学文学部教授・学長補佐

の井野瀬久美恵が務めます。

当講義は学生を対象としたものですが、一般の方の聴講も歓迎いたします(聴講無料)。受講する学生には、以下のように準備学習と到達目標を示しておりますので、ご参考になさってください。

【準備学習】

各講義内容と関連する朝日新聞の記事を必ず読みそこに描かれた「リアリティ」の中身について自分なりの考えをまとめてください。それ以外にも、気になる記事については、なぜ気になったのかの理由を含めてメモをつけて整理する。各自「Myスクラップブック」をつくっておいていただくと、自らの視点の変化がより把握できそうです。

【到達目標】

①新聞記事を批判的に読み解く力、メディアリテラシー(情報活用力)を養い、「本当のこと」はどこにあるのか、「リアリティ」の所在を自分なりに意識して、物事を理解する力を養う。
②一つの出来事にはせめぎあう複数の考え方があることを知り、「出来事」を的確にとらえ、より複層的な手法を身につける。

新聞というメディアをより親しむとともに、「リアリティとは何か、それはどこにあるのか」について、学生と一緒に考えませんか?

講義タイトル「阪神文化論」

毎週火曜(祝日・年末年始を除く) 14時40分～16時10分
岡本キャンパス10号館1階
1012講義室

- 11月26日 「先進国で最低!」日本の医師数 (医療の問題点)
 - 11月22日 「犯人はだれだ、地方自治体の赤字」自治体の意識決定
 - 11月9日 「バグダッドで何が起きたか」イラク戦争下の市民生活
 - 11月16日 「日本経済はもうダメか」(巨額負債・金融危機・景気の見通し・産業空洞化など)
 - 11月30日 「検察 vs 裁判員」(取り調べ・可視化・裁判員制度など)
 - 12月7日 「写真が語る真実」現場でとらえる真実、取材対象との関わり方
 - 12月14日 「本当はだれがトップ記事」紙面編集の仕方
 - 12月21日 「なにこれ珍表現」校閲事例と校閲の意味
 - 1月11日 未定
- ※担当者の都合により、内容を一部変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お問い合わせ先 ☎078-435-1275
(文学部事務局 ※平日9時～17時のみ)

ウィッセル神戸の選手たちが、直接指導!



甲南大学

サッカークリニック

レポート

2010 7.11 sun

甲南大学(八甲アイランド)総合体育施設
南グラウンド内サッカー場兼フットサル場
竣工記念・グラウンド開き

主催:甲南大学・甲南大学体育会サッカー部・同OB会
共催:甲南大学父母の会

7月11日(日)、春春竣工した六甲アイランド総合体育施設南グラウンドにあるサッカー場兼フットサル場のお披露目、そして日頃よりお世話になっている地域のみなさまへの感謝の気持ちを込めて、小・中学生を招待しサッカークリニックを開催いたしました。当日は、途中で雨が降ったりやんだりのお天候でしたが、約100名の参加者が8名のウィッセル神戸の現役選手に指導していただけたというスペシャルプログラムに、会場は大いに盛り上がりました。参加した方の中には「一流選手たちと一緒に甲南大学の真新しい人工芝グラウンドでボールを蹴った思いが強くて刻み込まれたことでしょうか。当クリニックは、甲南大学がウィッセル神戸のオフィシャルスポンサーであることから実現したのですが、開催にあたりましては、サッカー部OB会、父母の会、ウィッセル神戸のみなさまに大変お世話になりました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。サッカー部現役学生のみなさまもお疲れさまでした!

クリニック終了後、宮本選手より感想をいただきました!

今日は素晴らしいグラウンドで非常に楽しく子どもさんたちとサッカーができました。甲南大サッカー部の学生もサポートしてくれたおかげで、やりやすかったですね。ぜひ、今日参加してくれた子どもさんたちのなかから将来ウィッセル神戸に入って活躍してくれる選手が出てくることを期待しています!

参加選手(順不同):宮本恒靖選手・榎本達也選手・茂木弘人選手・松岡亮輔選手・エジミウソン選手・ポッティ選手・吉田孝行選手・朴康造選手



たくさんの選手が参加してくださいました。

ぜひご参加ください! 各種シンポジウム・イベント等のご案内

- 法学部

サンスター株式会社代表取締役社長の濱田和生氏をはじめ、法学部卒業生5名に学生時代の思い出等について語っていただいた後、パネルディスカッションを行います。

【日時】2010年11月19日(金)13時
【会場】岡本キャンパス甲友会会館
【お問い合わせ先】078-435-12415
(法学部事務局 ※平日10時～17時のみ)
【URL】http://www.konan-u.ac.jp/faculty/law/index.html
 - 経営学部

大阪リーガロイヤルホテル相談役の川越一氏(経営学部卒)による基調講演、現役学生による発表や卒業生によるパネルディスカッションに加え、交流会も行います。どうぞご参加ください!

【日時】2010年11月20日(土)13時
【交流会は17時30分】
【会場】岡本キャンパス甲友会会館(交流会は生協)
【お問い合わせ先】078-435-12441
(経営学部事務局 ※平日10時～17時のみ)
 - 経済学部「第40回インナーゼミナール大会」

【日時】2010年12月4日(土)9時開場予定
【会場】岡本キャンパス8号館1階
【URL】http://www.econ.konan-u.ac.jp/home/gakai/index.html
 - 経営学部「ゼミ甲子園」

【日時】2010年11月27日(土)時間未定
【会場】813講義室(岡本キャンパス8号館1階)
【お問い合わせ先】経営学部学生協議会
gakyo_keiei@ahoo.co.jp (荻野嘉也)
- 学生たちがゼミにおいて一生懸命研究した成果を熱く発表いたします。それぞれに工夫を凝らした企画をご用意しております。ぜひご来場ください!
- 詳細については、
URL <http://konan-biz.jp/>
をご覧ください!

第46回摂津祭(大学祭)を開催いたします!

毎年たくさんの方にご来場いただき摂津祭、今年も学生たちが一生懸命取り組みます。ぜひ岡本キャンパスにお越しください。

「アム」Set's ablaze
 盛えて明えて燃えまくれ!
 【日程】2010年11月3日(水)～7日(日)
 【模擬店営業時間】
 11月3日(水) 祝 6日(土) 10時～16時
 11月7日(日) 10時～15時
 【E-mail】http://sethsai2010.com/

卒業生教職員の集いを開催いたします。

甲南大学を卒業されて、小・中・高の教員になられた方(退職された方も含みます)にお集まりいただき「卒業生教職員の集い」を開催いたします。お申し込みは、教職教育センター(kyoshoku@center.konan-u.ac.jp)まで。

【日時】2010年11月6日(土)
 懇親会:13時～15時 総会:15時～16時
 【会場】懇親会:第5会議室 総会:第6会議室
 (ともに岡本キャンパス9号館4階)

岡本キャンパスとJAZZ研究会が映画に登場!

岡本キャンパスでロケが行われた映画「ふたたびSWINGMEAGAIN」が、2010年11月13日(土)より全国で公開されます。主演は鈴木亮平さん、脇を固めるのは、財津一郎さん、藤村俊二さん、古手川祐子さん、陣内孝則さんら名優たち。文化会JAZZ研究会の学生が演奏する場面も登場します。どうぞお楽しみに!



2010年ゴルフ甲子園 第10回高校野球部OBゴルフ対抗戦 開会式

甲南大学同窓会のご支援により、就職活動関連書籍が大幅割引に!

12月18日(土)までの間、甲南大学は、甲南大学生協書籍部において就職活動に関連する書籍を価格の20%OFFで購入できます。就職本のコーナーが設置されていますので、就職活動中の学生さんは一度覗いてみてください。当割引は、甲南大学同窓会のご支援をいただき実現しました。同窓会のみならず、心よりお礼申し上げます。

高校野球部OBがゴルフで活躍! ゴルフ甲子園2連覇!

8月28日(土)、西宮のみどりCCで行われた「2010ゴルフ甲子園」第6回高校野球部OBゴルフ対抗戦(14校109人参加)決勝で、団体戦において甲南高校OBチームが昨年に引き続き優勝しました。「ゴルフ甲子園」は、全国の元高校球児および野球部活動にかかわっていた人によるゴルフ大会で、6年前から毎年夏に開催されています。甲南チームに

体育会戦績報告

(敬称略)みなさんのファイトに心より拍手をお送りします

【弓道部】

第59回住吉大社全国弓道大会(5月)
 伊藤めぐみ(文3)、森本祐加(文3)、明石育恵(法2)、女子団体優勝
 個人部門
 岡田佑太(経済4)：優勝
 伊藤めぐみ(文3)：第4位、森本祐加(文3)：第5位、明石育恵(法2)：第6位

【剣道部】

第44回全日本女子学生剣道選手権大会(7月)
 高島千沙(文4)：全国ベスト8 ※16年ぶりの快挙
 第40回関西学生女子剣道選手権大会(5月)
 高島千沙(文4)：第3位
 兵庫県民体育大会(8月)
 奥村那津美(文3)、後藤未沙(法1)、本岡亜衣(経営2)、管聡美(法4)、高島千沙(文4)、寺岡沙都(法3)、猪川恵里香(文1)、女子団体5人戦優勝 ※10年ぶりの快挙

【硬式庭球部】

リーグ戦(9～10月)
 女子が一部昇格 ※35年ぶりの快挙

【ゴルフ部】

平成22年度関西学生男子春季新人戦(6月)
 小林永治(経営1)：第2位(74ストローク)
 【自動車部】
 全日本学生ダートトライアル選手権大会(8月)
 竹本幸広(経営4)：個人優勝

【少林寺拳法部】

第48回少林寺拳法関西学生大会(6月)
 小家佑介(経営4)：通用法の部最優秀賞(優勝)
 石本景星(理工4)：男子単独演武有段の部優秀賞(第2位)

【ボードセILING部】

アップウインド関西選手権(8月)
 西原誠(理工4)：第2位

【ライフル射撃部】

第6回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会(7月)
 村部功(経済4)：10mAPS 60第2位
 第21回西日本学生ライフル射撃選手権大会(6月)
 有馬久美子(理工4)：10mBPPS 40W優勝、山口優子(法4)：同第5位、田中温子(文4)：同第8位
 村部功(経済4)：10mBPPS 40M第3位、椎屋利夫(法2)：同第4位

第7回秋季全関西学生デジタルスポーツピストル射撃選手権大会(9月)
 有馬久美子(理工4)：優勝(記録：374.9点)
 女子団体：第1位(記録：780.0点)

【陸上競技部】

天皇賜杯第79回日本学生陸上競技対校選手権大会(9月)
 竹内亜喜(経営3)：400mH第6位(記録：59秒36/自己ベスト)、甲南歴代2位
 加藤亜友美(文2)、竹内亜喜(経営3)、大岡沙織(文4)、石本麻衣(文3)：4×400mリレー第6位(記録：3分43秒31/甲南歴代1位)
 2010日本学生陸上競技個人選手権大会(6月)
 竹内亜喜(経営3)：400mH第4位

第63回秩父宮賜杯西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月)

加藤亜友美(文2)、橋本美奈(文4)、大岡沙織(文4)、三宅奈緒香(文2)：4×100mリレー優勝
 大岡沙織(文4)：200m第7位
 酒井絵莉(文1)：800m第6位
 竹内亜喜(経営3)：400mH第4位、北本加奈(経営2)：同第8位
 加藤亜友美(文2)、戸田絵里菜(文2)、竹内亜喜(経営3)、大岡沙織(文4)：4×400mリレー第2位

第87回関西学生陸上競技対校選手権大会(5月)

加藤亜友美(文2)、橋本美奈(文4)、大岡沙織(文4)、三宅奈緒香(文2)：4×100mリレー優勝(2連覇)
 石本麻衣(文3)、加藤亜友美(文2)、竹内亜喜(経営3)、大岡沙織(文4)：4×400mリレー優勝(記録：3分44秒03/大会新記録)
 三宅奈緒香(文2)：女子100m優勝(記録：12秒20)

【釣クラブ】

全日本学生釣選手権大会(9月)
 吉川将史(経済2)：投げ釣の部準優勝

甲南大学の教員と卒業生が執筆した新刊レビュー



ワイレージフォン
 グラミン銀行によるマイクロファイナンス事業と途上国開発
 鳩貝耕一
 [情報教育研究センター教授]著
 佐藤彰男
 [1981年人文科学研究科修了]著
 御茶の水書房
 ¥2,800(税抜)



実践 司法通訳
 シナリオで学ぶ法廷通訳
 裁判員裁判編
 渡辺修(渡辺顯修)
 [法科大学院教授]著
 現代人文社
 ¥2,500(税抜)



フィールドワーク探求術
 気づきのプロセス、伝えるチカラ
 西川麦子
 [文学部社会学科教授]著
 ミネルヴァ書房
 ¥2,200(税抜)



大家さん税理士が教える
 不動産投資で効率的にお金を残す方法
 叶温
 [1997年経営学部卒]著
 ぱる出版
 ¥1,500(税抜)



感じてわかる!セラピストのための解剖生理
 野見山文宏
 [1966年経営学部卒]著
 BABジャパン
 ¥1,500(税抜)



ホームズ聖地巡礼の旅
 平賀三郎(本名・田上綱彦)
 [1961年経済学部卒]著
 軽井沢ニュース舎
 ¥1,600(税抜)



先生とはなにか
 京都大学師弟物語
 高橋哲雄
 [名誉教授]著
 ミネルヴァ書房
 ¥2,200(税抜)

は樋口英雄前校長も毎年参加し、優勝に貢献しています。なお、個人戦においても、甲南OB上田勝嗣さん(1975年高、1979年大・堂卒)が優勝されました。「野球と比べ、止まっている球を打つ簡単なスポーツだと思っていました。母校のために優勝を狙い必死になりました。甲子園をめざした野球小僧にかえりましたよ。優勝はチームワークの勝利です。」上田さん。甲南チームの他のメンバー：寺

内信博さん(1978年高、1982年大・堂卒)、森田剛史さん(1978年高、1982年大・堂卒)、山中啓さん(1986年高、1990年大・法卒)、佐伯一郎さん(1990年高、1994年大・経卒)、上田昌弘さん(2002年高、2006年大・堂卒)、辻井遼平さん(2007年高卒、法4年次)
 甲南チームのみなさん、おめでとうございませう!

お得な情報を、P8、P17、P18に掲載しています。ぜひご覧ください!

次号は2010年12月下旬発行予定
甲南Today No. 37

発行日/2010年10月20日
 発行/甲南学園広報部
 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
 TEL (078) 431-4341 (代)
 印刷/大日本印刷株式会社



甲南大学のホームページでは、KONAN FORUMに掲載している情報以外にもたくさんのニュースをご覧いただけます。ぜひご覧ください!

甲南大学ホームページ

<http://www.konan-u.ac.jp/>